

Let's Read!

中学生



『羊の告解』

いとう みく 著
静山社

品川区立図書館

『お絵かき禁止の国』

長谷川 まりる 著
講談社



ハルは中学3年生の女の子。幼い頃から男の子に興味がなく、同じクラスの飯塚アキラという女の子が好きだ。2人は推薦入試で高校に合格した後、一緒に帰るようになったことがきっかけで親しくなっていく。

ある日の下校時、ハルはアキラにキスをされる。それ以降、ハルはキスの意味を考え始め…。

『飛ぶための百歩』

ジュゼッペ・フェスタ 作 杉本 あり 訳
岩崎書店

中学を卒業したばかりのルーチョは2歳の時に目の病気になってから、徐々に視力を失っていった。お婆のベアは、ルーチョに閉じこもってほしくないと思い、2人で山登りをするようになる。

ルーチョは、周りの助けを借りることに抵抗があったが、山小屋で出会ったキアーラとの交流や山登りを通じ、変化していく。



『となりの難民』

織田 朝日 著
旬報社



内戦など、さまざまな事情で自分の国で生活ができない人々が、世界には多くいます。しかし平成30年度の日本では、難民申請をした1万493人のうち、わずか42人しか難民認定されていません。

日本の難民の現状と問題について、支援活動を行っている著者の体験を中心に、わかりやすく書かれています。

『羊の告解』

いとう みく 著
静山社



ある日突然、僕は加害者家族になった。

いつもと同じ朝、中学3年生の涼平の父親が殺人の容疑で逮捕され、家族は何もわからないまま、生活は一変します。

加害者家族として隠れるように過ごすことになった涼平は、何を考え、どう向き合っていくのでしょうか？

『部長会議はじまります』

吉野 万理子 作
朝日学生新聞社



詠章学園中学校では、毎週部活の代表者が集まって“部長会議”を行っています。今日もいたずらの犯人捜しや、恋の悩み、後輩との関係など悩みはいっぱい。

12人の部活の代表者、それぞれの目線から問題に取り組みます。ハラハラ、ドキドキな青春小説です。

『ぼくにだけ見えるジェシカ』

アンドリュー・ノリス 作 橋本 恵 訳
徳間書店



フランシスは、1人でお昼を過ごしているとき、幽霊の少女ジェシカと出会い、友だちになる。ジェシカの姿は、フランシスとローランドとアンディの3人にしか見えなかった。

なぜ自分が死んだのか分からないジェシカと、学校生活がうまくいかない3人が出会い、それぞれが変わっていく。

『14歳からの政治入門』

池上 彰 著
マガジンハウス



あなたは政治と言うと、どんなイメージを思い浮かべますか？「橋をかけるお金は誰が払って誰が集める？」「なぜ投票に行かないと不利になるの？」「大学生になるとお小遣いをもらえる国がある？」

この本ではこのような疑問に答えながら、政治、世の中のルール、選挙などについてわかりやすく解説しています。

『秘密をもてないわたし』

ペニー・ジョエルソン 著 河井 直子 訳
KADOKAWA

重度の脳性まひをもつジェマは、しゃべることも、身体を動かすこともできない。ある日、ジェマは殺人犯の告白を聞いてしまう。なんとかして、誰かに伝えようとするが…。

14歳の少女が困難を乗り越え成長する、手に汗握るサスペンス。



『瓶に入れた手紙』

ヴァレリー・ゼナッティ 作 伏見 操 訳
文研出版



イスラエルに住む少女タルは、授業中に素晴らしい考えを思いつく。それは、パレスチナに住む人に手紙を書くということ。瓶に手紙を入れて、兄に海へ投げってもらうように頼み、返事が届くのを待った。

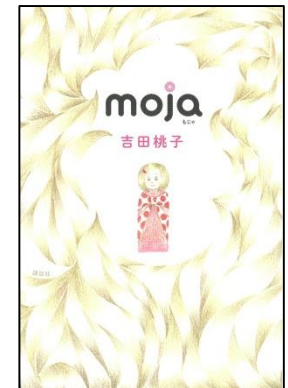
瓶に入った手紙を受け取った少年は、文化も生活も異なるタルとやりとりをはじめ…。

『moja』

吉田 桃子 著
講談社

親にも友達にも打ち明けられない私の悩み。それは毛深いこと。「かわいくて、頭がよくて、優しいから理沙はモテるでしょ？」と言われるけれど、みんなが持つイメージと、私はちがう。本当は「もじゃ」を隠している。

自分ではどうにもできないコンプレックスを抱えた女の子のお話。



『キャプテンマークと銭湯と』

佐藤 いつ子 作 佐藤 真紀子 絵

KADOKAWA



周斗は、中学に上がってから、サッカーのクラブチームでキャプテンをしていたが、コーチからキャプテンの交代を告げられた。

動揺する周斗だったが、昔祖父とよく来た『楽々湯』というレトロな銭湯に通ううちに、様々な人々との出会いの中で、徐々に心の不安がなくなっていく。

『食えるとはどういうことか』

藤原 辰史 著

農文協

12歳から18歳までの8名と、フジハラ先生が「食える」ということについて考え尽くします。

「いままで食べたなかで一番おいしかったものは？」など、簡単な質問から意見を出し合い、考えを深めます。食えるということを考えることで、「考えるって実は楽しい」と感じられるかもしれません。



このリストは、図書館の職員が中学生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川 2-3-2-3	TEL 3471-4667 FAX 3740-4014
二葉図書館	二葉 1-4-2-5	TEL 3782-2036 FAX 3782-9430
荏原図書館	中延 1-9-1-5	TEL 3784-2557 FAX 3784-8951
南大井図書館	南大井 3-7-1-3	TEL 3761-6780 FAX 3768-7976
源氏前図書館	中延 4-1-4-1-7	TEL 3781-6273 FAX 5702-4190
ゆたか図書館	豊町 1-1-7-7	TEL 3785-6677 FAX 5702-4035
大井図書館	大井 5-1-9-1-4	TEL 3777-7151 FAX 3777-4970
五反田図書館	西五反田 6-5-1	TEL 3492-2131 FAX 3492-4995
大崎図書館	北品川 5-2-1	TEL 3440-5600 FAX 3440-5604
大崎図書館分館	大崎 3-1-2-2-2	TEL 3491-3430 FAX 3491-3291
八潮図書館	八潮 5-1-0-2-7	TEL 3799-1414 FAX 3790-3442
大崎駅西口 図書取次施設	大崎 2-1-1-1 大崎ウィズシティテラス 2階	TEL 5487-6551 FAX 5487-6588

休館（所）日、開館（所）時間などは、各図書館・取次施設におたずねください。

このリストの表紙絵は、各出版社の許諾を得て使用しています。